

福島県 南相馬市（旧警戒区域）

（基本方針）

- 南相馬市の旧警戒区域におけるインフラは、住民が帰還して生活するうえで必要な水道、下水道、主要な道路等の公共インフラ及び小中学校や生涯学習センター、スポーツ施設等の公共施設を含めて、平成25年度までに概ね復旧を終えた。
- 「旧避難指示区域の復興なくして南相馬市の復興なし」という認識のもと、平成28年7月12日に避難指示が解除された旧避難指示区域（帰還困難区域を除く）の再生を図る。
- 旧避難指示区域における津波被災区域の農地については、ほ場整備事業等を含めた土地利用が明確になり次第、順次整備を進める。

（復旧の概況）

- 生活に必須となる道路・上下水道等のインフラは、一部道路を除いて復旧が終わり、供用が可能な状態になっている。なお、農地・農業用施設については、平成29年度を目標に順次災害査定を受検し、復旧工事に着手する。
- 医療福祉施設や市役所（区役所を含む）、公民館や集会場など住民の生活環境やコミュニティ復活につながるインフラについても概ね復旧は終わり利用が可能な状態になっている。
- 帰還困難区域を除く旧避難指示区域内の本格的な生活再建に向けて、公設商業施設を整備するほか、JR常磐線の利便性向上をはじめとした公共交通の確保、小高小中学校及び小高幼稚園の再開、調剤薬局の設置への支援など生活環境の確保・向上に努める。

●→ :工程が見込めるもの

●.....→ :工程が現時点で見込みにくいもの

事業	整備主体	被災/稼働状況	H28年度目標 (H28.7公表)	H28年度に実施 したこと(成果)	H29年度に実施 すること(目標)	29年度				30年度				31年度				32年度以降	備考・ポイント等
						4月	7月	10月	1月	4月	7月	10月	1月	4月	7月	10月	1月		
し尿処理																			
浄化センター	市	現在は復旧済	-																
道路(市道)																			
市道女場・下浦線他(地震)	市	開口クラック等、被災箇所92箇所 現在は復旧済	-																
市道姥沢・塚原線他(津波)	市	舗装流出等、被災箇所35箇所 2箇所通行不能	2箇所の復旧工事を実施	1箇所の復旧工事を実施	2箇所の復旧工事を実施	●.....→ 発注・工事												1箇所については、他事業との調整により実施の有無及び時期を判断する	
市道橋梁	市	5橋	-															1橋については、他事業との調整により実施の有無及び時期を判断する	
農地・農業用施設																			
農地	市・県	津波被災1,228ha 地震被災箇所 調査中 平成28年度まで (市) 41箇所査定済。完了6地区 (県) 16箇所査定済。完了0	37箇所の査定の受検予定 農地7箇所の復旧工の実施	(市) 1箇所査定完了 4箇所完了 (県) 農地12箇所の復旧工事を 実施。	(市) 4箇所の査定受検予定 20箇所の復旧工事予定 (県) 農地14箇所の復旧工事を 実施。	● 査定 ● 調査設計 ● 復旧工事	●.....→										各工程の完了時期(見込み) ・査定: H30年度完了予定 ・合意形成: H30年度完了予定 ・調査設計: H31年度完了予定 ・復旧工事: (原町区) H32年度完了予定 (小高区) 未定		
排水機場	県	平成28年度まで 3箇所査定済(小高、渋佐、金 沢)1地区完了	排水機場2箇所を実施し、1箇 所を完了する。	排水機場2箇所の実施	排水機場2箇所を実施し、2箇 所を完了する。	● 復旧工事	●.....→										各工程の完了時期(見込み) ・復旧工事: H29年度完了予定		
ため池・用・排水路	市	平成28年度まで ため池43箇所査定済、18箇所完了 水路15、頭首工10、揚水機11合計 36箇所査定済、3箇所(水路1、頭首 工1、揚水機1)完了	48箇所の査定の受検予定 ため池、用・排水路35箇所の 復旧工の実施	ため池1、頭首工9箇所発注済 ため池6、揚水機場1、頭首工 1、水路1箇所完了	● 査定受検予定 水路7箇所、サイフォン等5箇所 ● 復旧工事予定 水路9箇所、ため池7箇所	● 査定 ● 復旧工事	●.....→										各工程の完了時期(見込み) ・査定: H30年度完了予定 ・復旧工事: (原町区) H32年度完了予定 (小高区) 未定		
農道	市	地震によりクラック等の被災。 平成28年度まで 23箇所(橋梁2箇所含む)査 定済。8箇所完了	15箇所の査定の受検予定 農道2箇所の復旧工の実施	2箇所完了	2箇所の査定受検予定 9箇所の復旧工事予定	● 査定 ● 復旧工事	●.....→										各工程の完了時期(見込み) ・査定: H30年度完了予定 ・復旧工事: (原町区) H32年度完了予定 (小高区) 未定		
海岸防災林の再生																			
防災林造成事業 (原町「小沢」)	県	・海岸防災林の森林が津波に より流失	・植生基盤盛土工(4.4ha)に着 手する。	・植生基盤盛土工 2.35ha着手(次年度繰越)	・植生基盤盛土工 2.35ha完了(前年度繰越分) 6.00ha着手 ・植栽工 1.20ha着手	● 用地取得、植生基盤盛土工、植栽工の実施	●.....→										平成32年度完了予定		
防災林造成事業 (小高「村上字横砂ほか」)	県	・海岸防災林の森林が津波に より流失	・植生基盤盛土工(23.9ha)に着 手する。 ・植栽工(6.7ha)に着手する。	・植生基盤盛土工 29.97ha着手 11.32ha完了 ※残り18.65ha(次年度繰越) ・植栽工 7.38ha着手 2.93ha完了 ※残り4.45ha(次年度繰越)	・植生基盤盛土工 18.65ha完了(前年度繰越分) 29.43ha着手 ・植栽工 4.45ha完了(前年度繰越分) 7.70ha着手	● 用地取得、植生基盤盛土工、植栽工の実施	●.....→										平成32年度完了予定		
治山施設災害復旧事業 (原町「小沢」)	県	・防潮工及び林帯地盤が津波 により被災した。	・他所管事業との調整により一 時休止。		・植生基盤盛土工 2.70ha着手	● 植生基盤盛土工の実施	●.....→										平成29年度完了予定		

●→ :工程が見込めるもの ●.....→ :工程が現時点で見込みにくいもの

事業	整備主体	被災/稼働状況	H28年度の目標 (H28.7公表)	H28年度に実施 したこと(成果)	H29年度に実施 すること(目標)	29年度				30年度				31年度				32年度以降	備考・ポイント等
						4月	7月	10月	1月	4月	7月	10月	1月	4月	7月	10月	1月		
住宅																			
市営住宅	市	地震による建物および外構被害被災状況のうち外部については、専門業者により調査設計した。地震及び避難による住宅内部の損傷・汚損がある。	住宅内の清掃等を実施 全住宅完了:H29年度中	27戸の住宅内清掃等を実施 47戸の給湯器(ボイラー設備)の 取替修繕を実施	住宅内の清掃等を実施 全住宅完了:H29年度中(解体 検討住宅を除く)	●.....→ 損傷の著しい住宅の解体検討													震災による損傷が著しい老朽化住宅(り災住宅)については、用途廃止し解体を行っていく。併せて本市全体とした市営住宅のストック数を検討しながら市営住宅等長寿命化計画の見直しを行う。
災害公営住宅 (万ヶ迫地区、東町地区、上町地区)	市	用地買収、設計委託、造成工事、建設工事、供用開始	災害公営住宅40戸の供用開始	全40戸の供用開始済み	全40戸の入居とする														
防災集団移転事業	市	津波被災(移転戸数(全市):1,180世帯)	移転元の買取り	移転元14.8haを買取り (避難指示区域内13.1ha)	移転元の買取り	●→ 移転元の買取り													
移転者向け住宅団地の整備	市	住宅・宅地が不足していることから、被災者及び帰還・移住者の住宅確保及び生活再建のために住宅用地を確保する必要がある。	H28年12月末まで工事完了 H29年1月から分譲開始	平成29年3月工事完了 平成29年3月から分譲受付開始	分譲販売	●.....→ 分譲地の販売													個別移転又は移住を希望する方向けの宅地を造成し、安心して居住できる環境を提供する。

●→ :工程が見込めるもの

●.....→ :工程が現時点で見込みにくいもの

事業	整備主体	被災/稼働状況	H28年度目標 (H28.7公表)	H28年度に実施 したこと(成果)	H29年度に実施 すること(目標)	29年度				30年度				31年度				32年度以降	備考・ポイント等
						4月	7月	10月	1月	4月	7月	10月	1月	4月	7月	10月	1月		
幼稚園																			
小高幼稚園	市	園舎建物修繕が必要	再開準備の園舎内清掃等の実施 (当面は子育て支援施設として使用)	園舎内清掃 園庭遊具更新	認定こども園化に向けた設計を実施	●.....→	設計	●.....→	園舎建築	●.....→							平成25年度までに復旧を完了 再開には園舎建物修繕が必要 平成29年4月に幼稚園再開		
福浦幼稚園	市	園舎建物修繕が必要	-														平成25年度までに復旧を完了 再開には園舎建物修繕が必要		
金房幼稚園	市	園舎建物修繕が必要	-														平成25年度までに復旧を完了 再開には園舎建物修繕が必要		
鳩原幼稚園	市	園舎建物修繕が必要	-														平成25年度までに復旧を完了 再開には園舎建物修繕が必要		
保育園																			
おだか保育園	市	園舎建物修繕が必要	-		認定こども園化に向けた設計を実施	●.....→	設計	●.....→	園舎建築	●.....→							平成25年度までに復旧を完了 再開には園舎建物修繕が必要		
高等学校																			
小高商業高等学校	県	建物修繕が必要、耐震補強 (校舎、体育館)	商業実習棟新築等工事	小高工業高校敷地内に商業実習棟新築等工事を実施した。	H29.4に旧小高工業敷地にて統合校「小高産業技術高等学校」として開校												平成29年度より小高工業高等学校敷地にて統合校(小高産業技術高等学校)を開校		
小高工業高等学校	県	建物修繕が必要、耐震補強 (校舎、体育館)	工業実習棟改築工事 校舎補修設計・工事	工業実習棟改築工事、校舎補修設計・工事 仮設校舎建築工事を実施した。	H29.4に旧小高商業高校を統合して、「小高産業技術高等学校」として開校。 開校後も校舎補修工事は継続実施するが、仮設校舎のリースを受け教室不足に対応する。	校舎補修工事	→	仮設校舎賃貸借	→								平成29年度より小高工業高等学校敷地にて統合校(小高産業技術高等学校)を開校		
医療施設(公営)																			
小高病院	市	施設修繕工事(外構、設備配管等)等が必要	「新公立病院改革プラン」を年度内に策定。改革プランに小高病院の在り方(施設を含む)を明示する。	「新公立病院改革プラン」を策定し、99床の入院機能は総合病院の在り方(施設を含む)を解体する方針となった。	現在、使用している外来診療棟での診療は今後も継続し、国県に対する病床移管の手続き後、病院本館の解体工事に着手予定。												小高区の将来の推計人口、病院事業の採算面、地震による建物の損傷具合等、総合的な視点から入院機能は廃止する方針となった		
福祉施設																			
小高老人福祉センター	市	建物内外装、外溝ほか地震被害修繕	-														平成27年4月再開		
小高保健福祉センター	市	建物内外装、外溝ほか地震被害修繕	-														平成28年4月再開		
市役所・公共施設																			
小高区役所	市	建物被災無 周辺地盤沈下 現在は復旧済	-														平成25年4月再開済		
公共交通																			
一時帰宅等交通支援	市	JR常磐線は原ノ町駅～いわき駅間で不通(震災直後) JR常磐線原ノ町駅～竜田駅間不通 JR常磐線原ノ町駅～竜田駅間代行バス運行(H27.1から)	市内仮設住宅等に避難している住民等の一時帰宅便、JR原ノ町駅と小高駅間のシャトル便、避難指示区域内滞時に公共施設等へ出かけるおでかけ便を運行	鹿島区・原町区内の仮設住宅などと旧避難指示区域内の自宅を結ぶ一時帰宅便、旧避難指示区域内の自宅と小高区・原町区内の商業施設や医療機関などを結ぶおでかけシャトル便を運行(避難指示解除後)	鹿島区・原町区内の仮設住宅などと旧避難指示区域内の自宅を結ぶ一時帰宅便、旧避難指示区域内の自宅と小高区・原町区内の商業施設や医療機関などを結ぶおでかけシャトル便を運行	送迎用ジャンボタクシーの運行	●.....→										運転手の不足により利用しやすい運行が難しい		

●→ :工程が見込めるもの ●.....→ :工程が現時点で見込みにくいもの

事業	整備主体	被災/稼働状況	H28年度の目標 (H28.7公表)	H28年度に実施 したこと(成果)	H29年度に実施 すること(目標)	29年度				30年度				31年度				32年度以降	備考・ポイント等
						4月	7月	10月	1月	4月	7月	10月	1月	4月	7月	10月	1月		
除染																			
先行除染	国	小高庁舎、消防署、 上下水道施設及び駐在所の 除染実施済み	-			実施済み													
面的除染	国	H24年4月 特別地域内除染実施計画策定 H25年12月 特別地域内除染実施計画改定 H29年3月 面的除染完了	残りの宅地、農地、森林、道路 について、平成28年度内の終 了を目指す	面的除染を平成29年3月31日 に完了	必要な除染のフォローアップ を実施	除染のフォローアップの実施													
南相馬市計画	市	H23年11月 除染計画策定 H25年1月 除染実施計画策定 除染計画改定 (H25年6月、H 26年1月、H27年3月、H29年 3月)	除染の実施、完了	除染の実施	フォローアップ除染の実施、完 了	フォローアップ除染の実施													
仮置場	国	除染特別地域仮置場(13ヶ 所)	仮置場の確保、除去土壌等の 搬入、管理及び輸送等による 搬出	仮置場の確保、除去土壌等の 搬入、管理及び輸送等による 搬出	除去土壌等の管理及び中間貯 蔵施設等への搬出	除去土壌等の管理及び中間貯蔵施設等への搬出													
仮置場	市	除染特別地域を除く市内全域 分の仮置場を確保	・除染土壌等の運搬と保管 ・新規仮置場の場所選定、確保 及び整備 ・既存仮置場の賃貸借契約更 新 ・仮置場の原形復旧	・除去土壌等の運搬と保管 ・既存仮置場用地の賃貸借契 約更新 ・一部の仮置場(一時集積所2 3箇所を含む)の原形復旧	・除去土壌等の運搬と保管 ・既存仮置場用地の賃貸借契 約更新 ・一部の仮置場の原形復旧	除染土壌等の保管、既存仮置場の賃貸借契約更新 仮置場の原形復旧												中間貯蔵施設への除去土壌の運搬に ついて、詳細な計画が国から示されて おらず、仮置場撤去の計画を立てるこ とができない状況	
災害廃棄物処理																			
対策地域内廃棄物処理	国	(仮設焼却施設) 稼働中	・引き続き、対策地域内廃棄物 の処理を実施。	・被災家屋等の解体を実施。 ・片付けごみの回収を実施。 ・仮設焼却施設において焼却処理を 実施。	・引き続き、対策地域内廃棄物 の処理を実施。	仮設焼却施設運営												仮設焼却施設解体撤去	災害廃棄物等(旧警戒区域外)の代行処理 完了に伴い、代行処理のための仮設焼却施 設を対策地域内廃棄物処理用の2号炉とし て継続活用

南相馬市のインフラ復旧状況（平成 28 年度末現在） ※帰還困難区域を除く

工 種	復旧の状況	内 容	(参考) 事業完了時期
道路(市管理分)	○	[道路] 復旧済 122箇所/被災 127箇所 [橋梁] 復旧済 4箇所/被災 5箇所	H32 年度
河川(市管理分)	◎	[復旧済] 準用河川小沢川 (復旧済 1箇所/被災 1箇所)	H27 年度
河川(県管理分)	○	[復旧済] 0河川/被災 3河川	H30 年度
漁港(市管理分)	◎	[復旧済] 真野川漁港 (復旧済 1漁港/被災 1漁港)	H27 年度
漁港(県管理分)	○	[整備中] 真野川漁港 (復旧済 0漁港/被災 1漁港)	H29 年度
海岸	○	[農地海岸] 復旧済 3箇所/被災 7箇所 (角部内・蛭沢・棚塩)/ (小浜零、小沢、村上、井田川)	H30 年度
		[漁港海岸] 復旧済 1海岸/被災 2海岸	H29 年度
		[建設海岸] 復旧済 2海岸/被災 6海岸	H31 年度
海岸防災林	○	海岸防災林造成 (120.1ha) ・植生基盤盛土工 17.97ha/120.1ha ・植栽工 2.93ha/110.5ha	H32 年度
上水道(津波被災地域を除く) 簡易水道	◎	[復旧済] 原町上水道・小高上水道 [復旧済] 小高北部簡易水道・小高西部簡易水道	H24・25 年度 H24 年度
飲料水確保施設	○	[整備中] 井戸整備(市単独補助)	H29 年度
下水道 (し尿処理含)	◎	[復旧済] 小高浄化センター [復旧済] 小高処理区下水道管 [復旧済] 雫浄化センター(し尿処理施設)	H25 年度 H25 年度 H24 年度
農地・ 農業用施設	○	(市) [農地] 復旧済 8箇所/被災 41箇所 [ため池] 復旧済 13箇所/被災 43箇所 [用排水] 復旧済 3箇所/被災 36箇所 [道路] 復旧済 8箇所/被災 23箇所 (県) [農地] 復旧済 0箇所/被災 16箇所 [排水機] 復旧済 1箇所/被災 3箇所	(原町区) H32 年度内 (小高区) 未定
公共施設	◎	小高区役所、小高図書館 [復旧済] 小高区就業改善センター、小高体育センター 西部運動場、中部運動場、東部運動場	H25 年度
医療福祉施設	◎	[機能回復] 小高病院(H26.4 外来診療のみ再開) [復旧済] 小高老人福祉センター [復旧済] 小高保健福祉センター [復旧済] おだか保育園	H25 年度 H25 年度 H27 年度 H25 年度
文教施設	◎	[復旧済] (小学校) 小高、金房、福浦、鳩原(H29.4 再開) [復旧済] (中学校) 小高(H29.4 再開) [復旧済] (幼稚園) 小高(H29.4 再開)、金房、福浦、鳩原 [復旧済] (その他) 埴谷・島尾記念文学資料館	H25 年度
	○	[整備中] (高校) 小高産業技術高等学校 (H29.4 開校)	H29 年度

住宅	◎	[復旧済] 小高区内市営住宅（76戸） [建設済] 災害公営住宅（40戸） [整備済] 移住者向け住宅団地（68区画）	H29年度 H27年度 H28年度
	○	[整備済]（防災集団移転）住宅団地21地区の整備 [実施中]（防災集団移転）移転元地の買取り	H28年度 H29年度
公共交通対策	○	[実施中] 一時帰宅等交通支援（仮設住宅等からの足確保）	H29年度
除染 （旧警戒区域外）	○	[実施中] フォローアップ除染の実施	H29年度
除染 （除染特別地域）	◎	[実施済] 面的除染が完了	H29年3月
廃棄物処理	○	・被災家屋等（約2,850件）の解体撤去工事を実施中（約1,980件解体済） ・仮設焼却施設稼働中	（H31年度内）

【凡例】◎：復旧済・機能回復済、○：復旧中・建設中、▲：未着手、／：該当なし、×：被災なし